授業科目　教育方法・技術

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	健栄・スポ・看護
佐野　浩	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

【概要・一般目標：GIO】

教育方法とは教育の目標を実現する過程で行われる全ての実践の体系である。学校現場では、教師は学習指導要領や自校の教育計画に基づいて各教科の指導計画を立案し、授業の計画を立て、指導案を作成し、評価計画を立て、毎日の授業を行う。互いに授業を公開し合って協議会を持ち、発問や授業の展開、評価について批正し合い、日々研修が行われる。こうした教育の方法と技術は、教職に就いたその日から直ちに必要となる基礎的かつ必須の事項であり、講義の中で指導計画立案や指導案作成演習、模擬授業や協議会を行い、実践的な授業を行う。将来の教科経営や学級経営の基礎となる事項をここで提供したい。

【学習目標・行動目標：SBO】

1 教育方法・技術に関心を持つことができる。
2 教育方法・技術に関する基本的な知識を理解し、分かりやすく説明できる。
3 学級や生徒の実態、指導場面に即した適切な教育方法・技術を選択できる。
4 模擬授業や指導案を見て、教育方法・技術の見地から自己や他者の指導を適切に評価できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	教育方法とは何か、教育方法の源流（授業開き、学習の計画と意義）	1、2	講義
2	近代教育学と教授学の成立（コメニウス）	1、2	講義
3	合自然の教育学（ルソーとペスタロッチ）	1、2	講義
4	国民国家の教育学（ヘルバルトとヘルバルト主義）	1、2	講義
5	新教育運動と児童中心主義	1、2	講義
6	系統学習と問題解決学習	1、2	講義
7	教育課程と学習指導要領	1、2	講義
8	授業の設計と教材・教具（教育情報機器や視聴覚機器の活用）	1、2、3	講義
9	授業の設計と指導案・評価計画、模擬授業の計画	2、3	講義、グループ討議
10	模擬授業１※学生による模擬授業公開および研究協議会（評価）	3、4	発表、合評会
11	模擬授業２※学生による模擬授業公開および研究協議会（評価）	3、4	発表、合評会
12	模擬授業の中間まとめ、生徒指導と教科指導の違いと共通点	1、2、3	講義
13	模擬授業３※学生による模擬授業公開および研究協議会	3、4	発表、合評会
14	模擬授業４※学生による模擬授業公開および研究協議会	3、4	発表、合評会
15	教育方法と学校経営・学級経営、これからの教育（学習のまとめ）	1	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	教育方法論［教職課程シリーズ・６］	谷田貝公昭、林　邦雄、成田國英	一藝社	2004・2,000円＋税
参考書	教育の方法	佐藤　学	左右社	2010・1,600円
その他の資料				

【評価方法】

期末試験、ワークシート、指導案・模擬授業の状況、レポート、出席などを総合的に判断して評価します。

【履修上の留意点】

「教える」とはどういうことか、「学ぶ」とはどういうことか、生徒の心をはぐくみ、生きる力と確かな学力を育てるためにこれからの教育や教師はどうあればいいか、常に考えながら授業に参加することを求めます。
その答えこそが、どのようにどうやって教えるか、すなわち教育方法・技術だからです。